

災害時の対応について

別府市ファミリー・サポート・センター

近年、日本各地で地震や水害など想定以上の自然災害が発生しています。万一自然災害が起こった場合や警報などにより被害が予測されるような場合は、安全を優先して行動しましょう。

また、すでに利用・活動している会員の皆様につきましては、必ず連絡のつく連絡先と最寄りの避難所を確認しておいていただきますようお願い致します。



【地震発生時の対応】

※地震の規模はおおむね震度 5 以上を目安としますが、まかせて会員自身の状態(心身・家屋・家族)によって判断することも必要です。

ケース	対 応	
援助活動前に地震が発生したら	発生当日は、原則として活動は中止	・余震が来る可能性があります。慌てず冷静に、安全を最優先して行動しましょう。 ・お子さんが小学校、学童、保育園にいる時に地震が発生したら、お子さんは保護者が迎えに来るまでその場で待機となります。 ※施設が避難所になっている場合は、施設にいる方が安全な場合もあります。
援助活動中に地震が発生したら	・まずは、ご自身とお子さんの安全確保に全力を尽くしましょう。 ・ご自身・お子さんがケガをしている場合は、応急処置・治療を優先してください。 ・おねがい会員にお子さんの安否・居場所を連絡し、できるだけ早くお子さんを保護者に引き渡せるよう相談してください。	
	送迎中の場合	・ゆっくり車を止め、揺れが収まるまで待機し、揺れが収まったら、安全な場所に移動しましょう。 ・保育施設などの施設に戻って救助を得ることも検討してください。
	自宅で活動中の場合	・家屋、自分自身、ご家族の状況を判断し、避難を要する場合は避難所に避難しましょう。
翌日以降の活動再開について	安全が確保できるまでは活動中止	・会員同士が連絡を取り合い、自分自身、家族、家屋の状態を確認しましょう。 ・安全を確保してから活動を再開してください。

【台風・大雨・暴風時の対応】

※災害時は、ご自身とお子さんの安全を最優先して、無理な援助活動はしないようにしましょう。

- 天気予報で雨、風に関する警報が発令されている時は、援助活動を中止してください。
- 警報の発令が見込まれる時や、台風、豪雨、暴風、道路の凍結などが見込まれる場合は、事前に会員同士連絡を取り合って時間を変更するなど、活動の実施について検討してください。
- 少しでも不安があれば、お子さんの安全を考え、援助活動を中止することも考えましょう。

